講義名	キャリア実践論(3年生のみ)					授業形態	
担当教員	後藤　奈々子	開講期・曜日・時限	後期 木曜日 ２時限				
		単位数	2	履修開始年次	３年生	ナンバリング・コード	CAR320

主題と概要

大学生は、就職という社会への入口に不安を抱いている。学生は、多種多彩なスキルを評価する就職試験にも戸惑いがある。就職活動は、スタートラインである「何のために働くのか」という働くことの意義を自覚し、その上で社会・企業が求めている社会人基礎力を中心とした知識と能力を自ら磨いていくことが大切である。
就職活動は3年生の後期から準備が始まり、4年生の前期まで続く（未決定の場合は卒業まで続くこともある）。就職活動対象者は自分の強みや長所を再確認し、志望理由を明確化させる必要がある。また、企業が期待する入物像や求めるコンピテンシーを理解し、自己成長の目標に挑戦していくことが重要となる。
授業概要は、自分の強み・弱みを知ること（自己PR）。また、働くことの意義（価値観）や自分にとって良い会社の定義で志望動機を考えること。さらに、自己アピール力、プレゼンテーション力、会話力（面接・グループディスカッション）を高めるために、実践的な演習を交えて展開する。

到達目標

到達目標は、「なぜ働くのか」「あなたの強み」「あなたにとって良い会社の条件」の問いに対して、しっかりとした考え方を身につけること。その上で、自己PRの作成方法と会社選びの基準作りを学び、総合的な就職力を高めていくことである。
・自分の強みと弱みの分析から自己PRをまとめることができるようになる
・業界および企業研究の内容を自己PRや志望動機につなげることができるようになる
・就職力を高め、自分なりの目標設定と就職戦略を策定できるようになる

提出課題

・毎回の授業に関連したミニレポート
・課題レポート
・基礎能力小テスト
・最終レポート

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

毎回の授業に関連したミニレポートについては、次の授業の冒頭でフィードバックを行う。課題レポートや小テストについては、提出した次の授業で全体講評および傾向のフィードバックを行う。

評価の基準

・毎回の授業に関連したミニレポート（45点）
・課題レポート（10点）
・基礎能力小テスト（10点）
・最終レポート（35点）
※15回の授業のうち、3分の1（5回）以上の欠席者は評価対象外とします。ご注意ください。
※最終レポートの提出は必須です。必ず提出してください。

履修にあたっての注意・助言他

・この授業は、いずれ社会に出ていくための練習の場です。社会生活を送る上で必要なルールやマナー（時間を守る・私語を慎む等）を守って出席してください。
・授業内ではペアワークやグループワークを実施します。一定の自己開示と、自分も他者も尊重する周囲との関わりを心がけてください。
・3年生から4年生にかけて、就職活動のピークを迎えます。就職希望の学生は必ず受講し、日ごろから社会全体についての情報に関心を持ってください。

教科書

・使用しない.				

参考図書

・なし.				

その他

授業で使用する資料は適宜配布し、参考文献は授業内で紹介します。

授業計画

1.オリエンテーション―キャリア実践への動機づけ―
予習内容：シラバスを熟読し、履修目的や講義内容を確認する（90分）
復習内容：講義資料を再読し、キャリアと向き合う心構えを再確認し、実践する（150分）

2.自己理解①―過去の経験の整理―
予習内容：今までの歩みを振り返り、達成事項や課題点を洗い出す（90分）
復習内容：講義内のワークを振り返り、自身の行動特性や選択傾向を把握する（150分）

3.自己理解②―価値観や自己概念の発見―
予習内容：自身の価値観や概念をアウトプットする（90分）
復習内容：講義内のワークでの気づきや学びを整理し、自己分析に繋げる（150分）

4.他者理解①―他者の価値観を受容する―
予習内容：自身の価値観や概念を再度確認し、重要度を把握する（90分）
復習内容：講義内のワークでの新たな発見や気づきを整理し、自己分析を深める（150分）

5.他者理解②―業界・企業研究の仕方―
予習内容：業界や企業について、調べられる範囲で調べる（90分）
復習内容：講義資料を再読し、興味のある業界や企業について実際に調べまとめる（150分）

6.他己分析―他者から見える自分―
予習内容：身近な人からのフィードバックをもとに、他己分析を行う（150分）
復習内容：講義内で整理した他己分析の内容を振り返り、自己理解を深める（90分）

7.SPI対策―数的処理①―
予習内容：算数や数学の基礎を思い出し、自身の能力把握と課題発見を行う（90分）
復習内容：講義内で学んだことや小テストの出来を振り返り、課題を克服する（150分）

8.SPI対策―数的処理②―
予習内容：前回の課題を再確認し、解決に向けて学習時間を確保する（90分）
復習内容：講義内で学んだことや小テストの出来を振り返り、課題を克服する（150分）

9.自己表現―履歴書・エントリーシートの書き方―
予習内容：前半で行った自己分析の内容を振り返り、整理する（90分）
復習内容：講義内で完成させた自己PRの内容を再読し、ブラッシュアップする（150分）

10.集団での役割把握―グループディスカッション―
予習内容：グループディスカッションの基礎知識について調べる（90分）
復習内容：講義内のワークで明らかになった自身の特性や課題を整理し、実践の機会を作る（150分）

11.“働く”をイメージする①―働く意義―
予習内容：働く意義について、自身の考えをまとめる（90分）
復習内容：講義資料を再読し、様々な角度から働く意義を再考しイメージを鮮明にする（150分）

12.“働く”をイメージする②―求められるスキルやマインド―
予習内容：社会人基礎力に関する内容について、自身で調べる（90分）
復習内容：講義内で学んだこと、再確認したことを整理し、実践する機会を作る（150分）

13.面接対策①　―マナーと心得―
予習内容：面接マナーについて、自身で調べまとめる（90分）
復習内容：講義内で学んだ知識を実践で活かせるよう定着させる（150分）

14.面接対策②　―自分自身を語る―
予習内容：自己分析内容をアウトプットし、自己表現できるよう言語化する（150分）
復習内容：講義内のワークを振り返り、達成事項と課題点を明らかにする（90分）

15.まとめ　―最終レポートの完成―

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
○	ウ：ディスカッション、ディベート	○	エ：グループワーク
○	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

当該科目は、自分の強み・弱みを知ること（自己PR）、また働くことの意義（価値観）、自分にとって良い会社の定義で志望動機を考えること、さらに、自己アピール力、プレゼンテーション力、会話力（面接・グループディスカッション）を高めるために実践的な演習を交えて展開することを目的とした授業であり、「働く目的と仕事観の醸成、自身の適正と適職探し、職種と業界の特性分析等を体系的に行うとともに、就職力を高めるための実践的科目」というキャリア科目のCPと合致していると考える。また、自らの目標に向かって計画的に物事を遂行する力を養うことに重点をおいた授業であり、「自主・自立の精神を持った人材」という本学のDPと合致していると考える。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

毎回、授業冒頭でミニレポートや課題レポートのフィードバックを実施し、必要に応じて解説や回答を行う。また、授業内で適宜Responを使用した設問やアンケートを実施し、リアルタイムで意見の交換を行う。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
キャリアコンサルタントとして、大学生の就職支援や企業・自治体職員のキャリア相談員およびキャリア研修講師に従事。葛藤に寄り添い、社会や他者・自身と向き合うスキルやマインドについて、専門的な知見からお伝えします。

備考

状況によって、シラバスを一部変更する可能性があります。